

**「アルツハイマー病患者脳内に存在するウイルスを検出する試みと
その脳での影響の解明」
に関する情報公開**

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。病理解剖の際に医科学研究への協力にご承諾をいただいておりますが、改めて本研究へのご協力を承りますようお願いいたします。

なお、本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

研究の名称

アルツハイマー病患者脳内に存在するウイルスを検出する試みとその脳での影響の解明

研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理 / 高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

研究の対象

2001年7月以降に病理解剖され東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病、レビー小体病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症と診断された方および顕著な脳変性疾患なしと診断された方。

研究の期間

倫理委員会承認後から2024年3月31日まで。

研究の目的

アルツハイマー病とウイルス感染との関連は長年議論となっています。そのため、本研究では、アルツハイマー病とアルツハイマー病ではない方の脳からウイルスの検出を試みて、両者に関連があるか調べます。さらに、その脳での影響を検討します。

研究の方法

試料は匿名化され、東京慈恵会医科大学ウイルス学講座へ送付されます。脳組織から、DNA、RNAを抽出し、ウイルス核酸の検出をリアルタイムPCR法または次世代シーケンサーで行います。さらに、DNAメチル化解析を行います。

研究に使用する試料・情報

試料：凍結脳

情報：診断名、年齢、性別、身体所見（認知機能検査結果）、病理学的解析結果、死後

時間など

研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理 / 高齢者ブレインバンク	齊藤祐子 村山繁雄
東京慈恵会医科大学 精神医学講座	小林 伸行 (研究代表者)
東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座	嶋田 和也 岡 直美 石井 梓

お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク / 神経病理 齊藤祐子

電話 03-3964-3241 内線 4419 (平日 9:00~17:00)